



平成八年第五回定例会（九月九日～二十日）概要

平成八年第五回小浜市定例会が九月九日に招集され、会期を二十日までの十二日間と決定し、直ちに審議に入りました。

今定例会では、「平成七年度小浜市一般会計歳入歳出決算の認定について」などの認定案件十二件、「平成八年度小浜市一般会計補正予算（第二号）」などの議案十三件が上程されました。

初日の九日は、まず認定案件十二件が上程され、提案理由の説明、質疑が行われ、この後、決算特別委員会を設置し、委員会付託としました。（決算特別委員会の構成は

別記のとおり）

次に、「平成八年度小浜市一般会計補正予算（第二号）」など議案十三件が上程され、提案理由の説明、質疑の後、それぞれ所管の常任委員会に付託するとともに、陳情四件についても、委員会付託をし、十日、十一日を休会することとし散会しました。

9月定例会日程	
9日	本会議 会期決定、認定・議案上程、質疑、決算特別委員会設置、議案（予算・条例）上程、質疑、委員会付託
10日	休 会
11日	
12日	本会議（一般質問）
13日	
14日	休 会（委員会審査）
19日	
20日	本会議 閉会中の継続審査、常任委員長報告、質疑、討論、採決、意見書案上程、採決、議案（人事案件）上程、採決

十二日、十三日の両日は本会議が再開され、二日間にわたり十議員が市政各般にわたり一般質問を行いました。（一般質問ハイライトは別記のとおり）

続いて陳情四件（追加分）を委員会付託をし、散会しました。

十四日から十九日までを休会とし、この間、各常任委員

会において、委員会に付託されました議案、陳情等について審査が行われました。

二十日に本会議が再開され、はじめに、認定案件十二件並びに陳情二件について、決算特別委員長、教育民生常任委員長の申し出により、閉会中の継続審査としました。

続いて、総務、建設、産業経済、教育民生の各常任委員長から、付託議案の審査経過、結果が報告されました。

この後、各委員長報告に対する質疑、討論、採決を行い、原案のとおり可決しました。引き続き、産業経済、建設、総務、教育民生の各常任委員

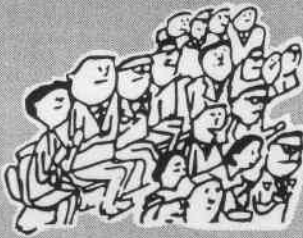
長から、意見書案六件が提出され、採決の結果、原案のとおり可決し、関係機関に意見書を提出することとなりました。

続いて、人事案件として「助役の専任について」および「教育委員会委員の任命について」の議案三件と、「人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて」の諮問四件が上程され、提案理由の説明、質疑の後、採決を行い、原案のとおり可決、同意し、付議されました事件を全て議了し、平成八年第五回小浜市議会定例会を閉会しました。

本会議を
傍聴しませんか?

傍聴席は約40席あります。
また体の不自由な人のため、
車いすでそのまま傍聴できる
席もあります。

くわしいことは市議会事務局へ
TEL 53-1111 (内線511~3)



人 事

助 役
教育委員会委員
人権擁護委員

平尾 正行 氏
齋藤 清輝 氏
高石 昭五 氏
長谷 嘉雄 氏
藤野 良一 氏
西川 節子 氏
池尾 正彦 氏

決算特別委員会委員

〔委員長〕
〔副委員長〕
〔委員〕

山崎 勝義 氏
岡 明 氏
石野 保 氏
岡 泰宏 氏
山本 益弘 氏
水尾 源二 氏
山口 貞夫 氏
川畑 潤子 氏

議 案 及 び 結 果

議案番号	議案内容	提出者	審議結果
議案第58号	平成8年度小浜市一般会計補正予算(第2号)	市 長	継続審査
議案第59号	平成8年度小浜市簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)	市 長	継続審査
議案第60号	平成8年度小浜市駐車場事業特別会計補正予算(第1号)	市 長	継続審査
議案第61号	平成8年度小浜市下水道事業特別会計補正予算(第1号)	市 長	継続審査
議案第62号	平成8年度小浜市漁業集落環境整備事業特別会計補正予算(第1号)	市 長	継続審査
議案第63号	平成8年度小浜市西津東部地区土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)	市 長	継続審査
議案第64号	行政手続条例の制定について	市 長	継続審査
議案第65号	小浜市退隠料等条例等の一部を改正する条例及び昭和35年3月31日以前に給付事由が発生した退隠料等の年額の改定に関する条例の一部改正について	市 長	継続審査
議案第66号	小浜市営国民宿舎及び小浜市営ユース・ホステルの設置等に関する条例の一部改正について	市 長	継続審査
議案第67号	小浜市営住宅管理条例の一部改正について	市 長	継続審査
認定第12号	平成7年度小浜市水道事業会計決算の認定について	市 長	継続審査
認定第11号	平成7年度小浜市国民宿舎及び小浜ユース・ホステル事業会計決算の認定について	市 長	継続審査
認定第10号	平成7年度小浜市西津東部地区土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	市 長	継続審査
認定第9号	平成7年度小浜市漁業集落環境整備事業特別会計歳入歳出決算の認定について	市 長	継続審査
認定第8号	平成7年度小浜市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	市 長	継続審査
認定第7号	平成7年度小浜市下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	市 長	継続審査
認定第6号	平成7年度小浜市老人医療特別会計歳入歳出決算の認定について	市 長	継続審査
認定第5号	平成7年度小浜市駐車場事業特別会計歳入歳出決算の認定について	市 長	継続審査
認定第4号	平成7年度小浜市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	市 長	継続審査
認定第3号	平成7年度小浜市加斗財産区運営事業特別会計歳入歳出決算の認定について	市 長	継続審査
認定第2号	平成7年度小浜市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	市 長	継続審査
認定第1号	平成7年度小浜市一般会計歳入歳出決算の認定について	市 長	継続審査

原案可決

一般質問 ハイライト

9月定例会の一般質問は、9月12日、13日に行われ、岡本議員、石野議員、川畑議員、岡(明)議員、新谷議員、中野議員、野村議員、山本議員、岡尾議員、杵子議員の10名が、市政各般にわたり、質問を行いました。

(質問と答弁の主な要旨は次のとおり)

小浜線電化 リゾート新線

Q 高速交通体系整備促進問題の小浜線電化について、舞鶴線の電化が具体化して方向付けができてきているようだが、今後舞鶴線と小浜線の一体的整備の経過と今後の取組みについてお尋ねします。また、新鉄道、リゾート線について、今後嶺南鉄道事業化検討協議会の中で議論がなされるが、その中身と実現に向けての整備建設基金の創設についてお尋ねする。

A 平成七年度、平成八年度の二カ年でリゾート新線、小浜線電化整備方法、事業主体、事業費等検討協議がなされ、年内に具体的な結論が出される予定である。その結果地元負担等具体的な方向性が示される。基金積立については、検討協議会の結果を待ち、嶺南八市町村で足並みを揃えた積立てを検討したい。基金の積立額、各市町村の負担額、県負担、時期、期間等具体的なことについては、関係市町村と協議検討を重ねながら決定したい。

議案	結果	議員	採択
議案第68号	小浜都市計画下水道事業受益者負担に関する条例の一部改正について	〃	〃
議案第69号	福井県自治会館組合の設立について	〃	〃
議案第70号	財産の取得について	〃	〃
議案第71号	助役の選任について	〃	〃
議案第72号	教育委員会委員の任命について	〃	〃
議案第73号	教育委員会委員の任命について	〃	〃
【諮問】			
諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	〃	〃
諮問第2号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	〃	〃
諮問第3号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	〃	〃
諮問第4号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	〃	〃
【陳情】			
H7陳情第12号	人権擁護に関する「条例」もしくは「宣言」の制定についての陳情書	〃	〃
陳情第5号	「米兵暴行事件」に関する意見書 採択の陳情書	〃	〃
陳情第6号	住専処理に関する意見書採択をを求める陳情書	〃	〃
陳情第7号	住専処理に国民の税金を使わないように求める意見書採択に関する陳情書	〃	〃
陳情第8号	住専処理への公的資金導入に関する意見書の採択についての陳情	〃	〃
陳情第11号	JR小浜線の電化に関する陳情	〃	〃
陳情第12号	義務教育費国庫負担制度の堅持を求める陳情書	〃	〃
陳情第13号	第九次治水事業五箇年計画策定に関する活動について	〃	〃
陳情第14号	道路特定財源諸税の現行税率堅持に関する意見書の提出について	〃	〃
陳情第15号	公務員労働者の新賃金早期決定に関する陳情書	〃	〃
陳情第16号	林野公共事業促進に関する活動について	〃	〃
陳情第17号	国民本位の介護保険制度の早期確立についての意見書提出を求める陳情書	〃	〃
陳情第18号	平成8年度農業再編、食料、農業、農村対策について	〃	〃
【意見書】			
意見書第4号	義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書	〃	〃
意見書第5号	第九次治水事業五箇年計画策定に関する意見書	〃	〃
意見書第6号	道路特定財源の確保に関する意見書	〃	〃
意見書第7号	公務員労働者の新賃金早期決定を求める意見書	〃	〃
意見書第8号	林野公共事業の促進に関する意見書	〃	〃
意見書第9号	平成8年度農業再編、食料、農業、農村対策に関する意見書	〃	〃

近畿自動車道

敦賀線

Q 近畿自動車道敦賀線の岡津敦賀間については

都市計画決定を行うため地元説明会が開かれており、実現に向けて円滑に都市計画決定が行わなければならない。そこで年内に開催が予定されている国土開発幹線自動車道建設審議会(国幹審)に向けて、都市計画決定への取り組みミケジュールについて具体的に

A 都市計画決定については、福井県が決定するわけですが、現在県と国が地元説明会を開催し、これから案の縦覧が二週間行われ、この期間のうちに意見のある人は県知事に対して意見書を出すことができます。それに対し県知事は小浜市の意見を尋ね、小浜市長から市都市計画審議会へ諮問し、審議会の意見を県へ提出します。県は、小浜市からの意見を参考にしながら都市計画決定をするというスケジュールで今後取り組んでまいります。

0-157

Q 現在0-157の猛威により各地で感染者が

多数出ており、学校給食のあり方が問われているが、本市では、この問題をどのように認識されているか。給食職員の配置、学校の調理室、学校給食の民間委託等についてどの様になっているのかお尋ねします。

A 本市におきましては、0-157の発生にかかわらず学校給食は衛生的に調理されなければならないという基本理念に基づき実施しており、月一回の給食調理員の検便、飲料水・プールの水質検査、保健所による給食管理責任者講習、市独自の給食調理員の研修等実施しており学校給食における食中毒防止に努めている。0-157の予防については、原因がはっきりしていないため、基本的な生活習慣の指導を徹底し、九月三日からの給食開始のため、給食調理員の検便(月二回)、水質検査、消毒及び清掃、防鼠防虫駆除等を実施し万全を期しており、施設面については、原材料及び調理済み食品保存用冷凍庫、中心温

度計を購入し、給食実施をしています。また、学校給食の民間委託については、集団中毒が発生した場合、センター

方式であれば感染が一枚にとどまらないことや、委託を実施しても地形的にいくつかの学校は、自校方式で実施しなければならぬことなどから、現在のところ自校方式で対応しております。

福祉対策

Q 福祉施設充実策の展望について、本市の高齢

化率は二一%台に入っております。観海寮については平成元年以来県当局と改築について協議されておりますが、現在の状況と将来展望についてお尋ねします。また、特別養護施設について、県が事業団として経営している小浜市福寿園の大規模改修を前提に施設を小浜市に受託してもらえないかと以前から話が出ています。その対応についてお尋ねします。これら観海寮、福寿園また山手団地を、一体的に保健福祉サービスの拠点施設として整備することについて将来展望をお尋ねします。

A 観海寮、福寿園、市営山手団地については、それぞれ老朽化による建替え

改善整備計画を持ってまいりましたが、検討会を設置し調査研究を進めた結果、福祉関連施設であり、三つとも行政設置運営主体であるため、この区域一帯を高年齢福祉施設サービスの総合拠点として一体化整備することの方針を固めております。その内容については、一つ目には特別養護老人ホーム小浜福寿園の定員を増床し、ショートステイ施設、デイサービスセンター、在宅介護支援センターの併設、二つ目には虚弱老人対象の同居施設として食事援助つきのケアハウスの新設、三つ目には市営住宅山手団地の建替えに当たり、各棟一階部分を高齢者、障害者対応住宅に出来な

観光行政

Q 観光行政について、本市は蘇洞門をはじめ、

市内に国宝八ヶ寺を有し、観光資源に恵まれているが、不況や天災、さらにはニーズの多様化などに伴い年々観光客が減少している。本市は県内他市にみられるような大々的な観光振興計画がなく、具体的方策に貧しい現状である。近隣市町村と連携を取り合っ

A 近年余暇時間の増大、価値観、生活様式の変化に伴い、観光に対するニーズも個性化、多様化している。広域的観光行政については、若狭地域の各自治体と連携を図りながら取り組みを進めていく必要があると考えている。嶺南の各自治体、各観光協会、観光業者などで組織している若狭湾観光連盟が、社団法人